

令和2年度 市民意識調査（案）

I 男女共同参画意識についておたずねします。

**問1** 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方について、あなたはどのように思いますか。  
あてはまる番号1つに○をつけてください。（○は1つ）

- |              |              |         |
|--------------|--------------|---------|
| 1 賛成         | 3 どちらかといえば反対 | 5 わからない |
| 2 どちらかといえば賛成 | 4 反対         |         |

**問2** あなたは次の1～8にあげるような分野で男女の地位が平等になっていると思いますか。それぞれの項目について、あてはまる番号1つに○をつけてください。（○はそれぞれ1つずつ）

	男性の方が 優遇されて いる	どちらか といえば 男性の方が 優遇されて いる	男女の地 位は平等 になって いる	どちらか といえば 女性の方が 優遇されて いる	女性の方が 優遇されて いる	わから ない
1 家庭生活	1	2	3	4	5	6
2 職場	1	2	3	4	5	6
3 学校教育	1	2	3	4	5	6
4 地域社会（自治会、PTAなど）	1	2	3	4	5	6
5 政治	1	2	3	4	5	6
6 法律や制度	1	2	3	4	5	6
7 社会通念・慣習・しきたり	1	2	3	4	5	6
8 社会全体	1	2	3	4	5	6

II 家事・育児・介護についておたずねします。

**問3** あなたのご家庭の家事・育児・介護の役割分担について、(1)理想、(2)現状にあてはまる番号それぞれ1つに○をつけてください。（○はそれぞれ1つ）

	(1) 理想	(2) 現状
1 男性が仕事、女性が家事・育児・介護を分担する	1	1
2 女性が仕事、男性が家事・育児・介護を分担する	2	2
3 男女ともに仕事をし、家事・育児・介護は主に女性が分担する	3	3
4 男女ともに仕事をし、家事・育児・介護も携わる時間を平等に分担する	4	4
5 男女ともに仕事をし、家事・育児・介護も役割を平等に分担する	5	5
6 男女ともに仕事をし、家事・育児・介護は主に男性が分担する	6	6
7 男女ともに仕事をし、家事・育児・介護はなるべく家事・育児・介護サービスを利用する	7	7
8 その他（理想・現実の役割分担 )	8	8
9 わからない	9	9

**問4** あなたが家事・育児・介護などに携わる1日あたりの平均的な時間について、あてはまる番号1つに○をつけてください。（○は(1)平日、(2)休日それぞれ1つ）



	0～ 15分 未満	15～ 30分 未満	30分 ～ 1時間 未満	1～ 2時間 未満	2～ 3時間 未満	3～ 5時間 未満	5～ 7時間 未満	7～ 8時間 未満	8時間 以上
(1) 平日	1	2	3	4	5	6	7	8	9
(2) 休日	1	2	3	4	5	6	7	8	9

令和2年度 市民意識調査(案)

問5 あなたは、男性が家事、育児、介護などを積極的に行うためには、どのようなことが必要だと思いますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

- 1 夫婦や家族間でのコミュニケーションをよくはかること
- 2 子どもの頃から、男女平等意識を教育や生活の中にとりいれること
- 3 社会の中で、男性が家事・育児・介護に関わることについて、評価を高めること
- 4 男性による家事・育児・介護などについて、職場における上司や周囲の理解を進めること
- 5 働き方改革により、仕事以外の時間をより多く持てるようにすること
- 6 男性が家事・育児・介護などを行うことに対する男性自身の抵抗感をなくすこと
- 7 男性が家事・育児・介護などを行うことに対する女性の抵抗感をなくすこと
- 8 年配者やまわりの人が、夫婦の役割分担などについての当事者の考え方を尊重すること
- 9 男性が家事・育児・介護などを行うための、仲間(ネットワーク)作りをすすめること
- 10 男性の家事・育児・介護などについて、啓発や情報提供、相談窓口の設置、講座などを行うこと
- 11 その他(具体的に )
- 12 特にない

### Ⅲ 地域活動・防災についておたずねします。

問6 地域活動についておたずねします。あなたの(1)現在の活動と、(2)今後の活動意向について、あてはまる番号すべてに○をつけてください。(○はそれぞれいくつでも)

	(1) 現在行っている 活動	(2) 継続したい・ 今後行いたい活動
1 子ども会やPTAなどの子どもに関わる活動	1	1
2 自治会、商店会、商工会などの活動	2	2
3 仕事でつちかった知識や経験を活かした活動	3	3
4 趣味、スポーツ、習い事	4	4
5 自己啓発のための学習活動	5	5
6 附属機関やその他委員会などの行政の委員会	6	6
7 NPO活動やボランティア活動への参加	7	7
8 防犯協会活動や自主防災組織など防犯や防災に関する活動	8	8
9 その他(具体的に )	9	9
10 行っている(行いたい)活動はない	10	10

【問6で「10 行っている(行いたい)活動はない」と答えた方にお聞きします。】

問6-1 地域活動に参加していない理由は何ですか。あてはまる番号に3つまで○をつけてください。

- |                                   |                               |
|-----------------------------------|-------------------------------|
| <del>1 時間的に余裕がないから</del>          | <del>6 地域活動には関心がないから</del>    |
| <del>2 参加したい活動がないから</del>         | <del>7 自分の健康上の理由から</del>      |
| <del>3 参加方法がわからない、きっかけがないから</del> | <del>8 家族の協力、理解が得られないから</del> |
| <del>4 人間関係がわずらわしいから</del>        | <del>9 その他(具体的に )</del>       |
| <del>5 どのような活動があるのかわからないから</del>  |                               |

【すべての方におたずねします】

問7 男性も女性も地域活動に参加しやすくするためには、どのような環境や条件が必要だと思いますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

- |                                   |                            |
|-----------------------------------|----------------------------|
| 1 地域活動に参加できる時間のゆとりがある             | 6 地域活動に使える場所や施設がある         |
| 2 地域活動をする経済的なゆとりがある               | 7 地域活動について情報を得ることができる      |
| 3 地域活動が仕事や家庭生活と両立できる曜日や時間で設定されている | 8 地域活動することについて家族など周囲の理解がある |
| 4 一緒に活動できる仲間がいる                   | 9 その他(具体的に )               |
| 5 地域に興味のある活動団体がある                 | 10 わからない                   |

令和2年度 市民意識調査(案)

**問8** 近年大規模災害による避難所運営において女性への配慮がなされず、防災対策にて男女共同参画の視点を取り入れるべきといわれております。このことについてどのような取組が必要だと思いますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

- 1 市の防災会議や災害対策本部に女性の委員・職員を増やす
- 2 性別に偏ることなく、防災活動や訓練、避難所の運営に参画する
- 3 備蓄品について女性やささまざまな困難をかかえる人の視点を入れる
- 4 「避難所運営マニュアル」などをつくり、誰もが安全に過ごせるようにする
- 5 防災や災害現場で活躍する女性のリーダーを育成する
- 6 日頃からのコミュニケーション、地域でのつながりを大切にする
- 7 日頃から男女平等、男女共同参画意識を高める
- 8 その他(具体的に )
- 9 わからない

#### IV 仕事についておたずねします。

**問9** あなたは、この1か月間で収入を得る仕事をしましたか。(○は1つ)  
※産休、育休、介護休暇中の人は「1 仕事をした」に○をつけてください。

1 仕事をした

2 仕事をしていない

(問9-2にお進みください。)

【問9-1は、問9で「1 仕事をした」と答えた方におたずねします。】

**問9-1** あなたの職場では、仕事の内容や待遇面で、性別によりちがいがあると感じられることがありますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

- |                                 |                                 |
|---------------------------------|---------------------------------|
| 1 性別により賃金、昇給や昇進、昇格の評価にちがいがある    | 6 男性が育児・介護休業を取得しにくい雰囲気がある       |
| 2 性別により配置場所が限られている              | 7 性別により長時間労働、サービス残業、休日出勤にちがいがある |
| 3 性別により募集や採用にちがいがある             | 8 教育・研修を受ける機会にちがいがある            |
| 4 女性は結婚や出産で退職しなければならないような雰囲気がある | 9 性別でちがいがあると感じられることはない          |
| 5 女性が育児・介護休業を取得しにくい雰囲気がある       | 10 わからない                        |
|                                 | 11 その他(具体的に )                   |

【問9-2、問9-3は、問9で「2 仕事をしていない」と答えた方におたずねします】

**問9-2** あなたがこの1か月間仕事をしなかった理由をお答えください。あてはまる番号すべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

- |                       |                          |
|-----------------------|--------------------------|
| 1 高齢だから               | 8 趣味や社会活動など他にやりたいことがあるから |
| 2 学生だから               | 9 家事・育児と両立できないから         |
| 3 求職活動中だから            | 10 家族等の介護・看護と両立できないから    |
| 4 希望や条件にあう仕事が見つからないから | 11 扶養家族のほうが有利だから         |
| 5 働かなくても経済的に困らないから    | 12 家族の転勤や転居があるから         |
| 6 職業能力に自信が持てないから      | 13 家族の理解が得られないから         |
| 7 健康に自信が持てないから        | 14 その他(具体的に )            |

**問9-3** 今後働くとしたら、どのような働き方を望みますか。(○は1つ)

- |                                 |                         |
|---------------------------------|-------------------------|
| 1 正規従業員(常勤)として働きたい              | 6 自宅や身近な場所等でインターネットを通じて |
| 2 正規従業員以外(契約・派遣・パート・アルバイト)で働きたい | 仕事するSOHO(※1)やテレワークで働きたい |
| 3 自分で事業を始めたい(起業)                | 7 働きたいができないと思う          |
| 4 家の仕事(家業)を手伝いたい                | 8 働きたいと思わない             |
| 5 非営利活動団体(NPO、NGO等)で働きたい        | 9 その他( )                |

※1 Small Office Home Officeの略称で、自宅や小さな事務所を拠点に、個人あるいは少人数で運営される小規模な事業(者)。

令和2年度 市民意識調査（案）

【すべての方におたずねします】

**問10** あなたは、女性の望ましい働き方についてどうお考えですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。（○は1つ）

- 1 結婚や出産にかかわらず、仕事を続ける
- 2 結婚するまでは仕事を続け、結婚後は家事に専念する
- 3 子どもができるまでは仕事を続け、出産後は家事や子育てに専念する
- 4 子育ての時期だけ一時やめて、その後はフルタイムで仕事を続ける
- 5 子育ての時期だけ一時やめて、その後はパートタイムで仕事を続ける
- 6 その他（具体的に \_\_\_\_\_ )
- 7 仕事に就かない方がいい
- 8 わからない

**問11** あなたは、女性が長く働き続けるためには、どのようなことが必要だと思いますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。（○はいくつでも）

- |                              |   |
|------------------------------|---|
| 1 保育所や学童クラブなど、子どもを預けられる環境の整備 | 8 短時間勤務制度や在宅勤務制度などの導入                   |
| 2 介護支援サービスの充実                | 9 職場における育児・介護との両立支援制度の充実                |
| 3 家事・育児支援サービスの充実             | 10 育児や介護を柔軟に支援する職場の雰囲気づくり               |
| 4 男性の家庭参画への理解・意識改革           | 11 育児や介護による仕事への制約を理由とした昇進などへの不利益な取扱いの禁止 |
| 5 女性が働き続けることへの周囲の理解・意識改革     | 12 その他（具体的に _____ )                     |
| 6 働き続けることへの女性自身の意識改革         | 13 特にない                                 |
| 7 長時間労働の改善を含めた働き方改革          | 14 わからない                                |

## V ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）についておたずねします

**問12** あなたの生活の中での、「仕事」「家庭生活」「個人の生活（地域活動、趣味・学習等）」の優先度について（1）あなたの理想に最も近い番号、（2）あなたの現状に最も近い番号1つに○をつけてください。（○はそれぞれ1つ）

	(1) 理想	(2) 現状
1 「仕事」を優先	1	1
2 「家庭生活」を優先	2	2
3 「個人の生活」を優先	3	3
4 「仕事」と「家庭生活」を優先	4	4
5 「仕事」と「個人の生活」を優先	5	5
7 「家庭生活」と「個人の生活」を優先	6	6
8 「仕事」「家庭生活」「個人の生活」のすべて優先	7	7
9 わからない _____ )	8	8

**問13** あなたは、ワーク・ライフ・バランスを実現するために、職場に望むことは何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。（○はいくつでも）

- |  |                                       |
|--|---------------------------------------|
| 1 企業等のトップがリーダーシップを発揮してワーク・ライフ・バランスに取り組む    | 7 育児・介護休業を取得しても昇進・昇格の妨げにならない人事評価制度づくり |
| 2 管理職の意識改革を行う                              | 8 有給休暇・育児休業・介護休業が取りやすい職場の雰囲気づくり       |
| 3 管理職以外の従業員の意識改革を行う                        | 9 育児・介護休業取得者の代わりとなる人材を補充              |
| 4 多様な働き方の導入（フレックスタイム制度や在宅勤務（テレワーク）、短時間勤務等） | 10 その他（具体的に _____ )                   |
| 5 残業や休日出勤を減らし時間外労働を短縮する                    | 11 特にない                               |
| 6 地域活動に参加しやすい職場の理解                         |                                       |

令和2年度 市民意識調査(案)

**問14** あなたは、ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)を実現するために、小平市がどのような施策を講じることが効果的だと思いますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。  
(○はいくつでも)

- 1 保育所・介護施設などの環境を整えること
- 2 就労・再就職・起業に向けての支援をすること
- 3 「男は仕事、女は家庭」という性別役割分担意識を改める施策を実施すること
- 4 市民、事業者、社会へ向けて仕事も家庭も大切にするという意識を啓発すること
- 5 趣味や余暇を活かした活動や個人の能力を地域社会に貢献できるように支援すること
- 6 市民活動をしやすい環境を整えること
- 7 その他(具体的に )
- 8 特にない
- 9 わからない

【平成31年4月1日から令和2年3月31日までに本人または配偶者が出産した方、またはこれから子育てをされる方(令和2年4月1日以降にお子さんが生まれた方も含む)へおたずねします。】

**問15** 育児休業の取得状況についておたずねします。

あなたやあなたの配偶者が出産された時に、あなたは育児休業を取得しましたか。

これから子育てをされる方は、あなたやあなたの配偶者がこれから出産する場合、あなたは育児休業を取得しますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。(○は1つ)

現在子育て中の方 ⇒

- |        |           |
|--------|-----------|
| 1 取得した | 2 取得しなかった |
|--------|-----------|

これから子育てされる方 ⇒

- |        |         |         |
|--------|---------|---------|
| 3 取得する | 4 取得しない | 5 わからない |
|--------|---------|---------|

【問15で「2 取得しなかった」、「4 取得しない」と答えた方におたずねします】

**問15-1** あなたが、育児休業を取得しなかった(しない)理由は次のうちどれですか。

あてはまる番号すべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

- |                                |                   |
|--------------------------------|-------------------|
| 1 職場に迷惑がかかると思うから               | 6 出産を機に退職した(する)から |
| 2 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があったから       | 7 収入が減少するから       |
| 3 復帰後やっていけるかどうか不安であるため         | 8 必要性を感じない        |
| 4 元の仕事(職場・ポジション)に復帰できるとは限らないから | 9 その他 具体的に        |
| 5 昇進・昇格に支障が出るから                | 10 特に理由はない        |

令和2年度 市民意識調査(案)

【すべての方におたずねします】

**問16** あなたは、育児休業をさらに取得しやすくしていくためには、どんなことが必要だと思いますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

- |                              |                            |
|------------------------------|----------------------------|
| 1 事業主や上司の理解                  | 7 代替職員の確保のための援助制度の充実       |
| 2 職場内の理解を深めていくこと             | 8 休業後、スムーズに保育所等に入所できる体制の整備 |
| 3 休業中の経済的支援                  | 9 育児休業制度についての行政機関等の普及啓発    |
| 4 休業期間の延長                    | 10 その他(具体的に )              |
| 5 短時間勤務制度等、休業後に職場復帰しやすい体制の整備 | 11 特にない                    |
| 6 休業中の情報提供、職場復帰のための研修の実施     | 12 わからない                   |

**問17** あなたは、子育てと仕事の両立を図るために、職場においてどのような制度や支援策の充実が必要だと思いますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

- |   |
|---|
| <del>1 妊娠中や育児期間中の勤務軽減(フレックスタイム、短時間勤務、在宅勤務(テレワーク)制度など)</del> |
| <del>2 育児休業制度や再雇用制度の普及促進及び円滑に利用できる環境づくり</del>               |
| <del>3 子どもが病気やけがの時などに安心して看護のための休暇が取れる制度</del>               |
| <del>4 勤務先に保育施設を設置する</del>                                  |
| <del>5 男性も育児休業制度を取得しやすいなど、子育てに男性も関わりやすい環境づくり</del>          |
| <del>6 子育てと仕事の両立に向け、職場内の理解を深めていくこと</del>                    |
| <del>7 女性の就労継続に対する企業の理解や支援</del>                            |
| <del>8 その他(具体的に )</del>                                     |
| <del>9 特にない</del>   |
| <del>10 わからない</del>   |

【平成31年4月1日から令和2年3月31日までに要介護者を支援されていた方へおたずねします。】

**問18** 介護休業の取得状況についておたずねします。

あなたは、介護休業を取得したことがありますか。(○は1つ)

- |                  |                  |
|------------------|------------------|
| 1 介護休業を取得したことがある | 2 介護休業を取得したことがない |
|------------------|------------------|

【問18で「2 介護休業を取得したことがない」と答えた方へおたずねします。】

**問18-1** あなたが介護休業を取得しなかった理由は次のうちどれですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

- |  |
|--|
| 1 そのような休業の制度がなかったから                        |
| 2 家庭内に介護をしてくれる人が別にいたから                     |
| 3 職場に迷惑がかかると思うから                           |
| 4 職場に介護休業を取りにくい雰囲気があったから                   |
| 5 元の仕事(職場・ポジション)に復帰できるとは限らないから             |
| 6 昇進・昇格に支障が出るから                            |
| 7 介護・看護を機に退職したから                           |
| 8 収入が減少するから                                |
| 9 必要性を感じない                                 |
| 10 休業の制度があることを知らなかったから                     |
| 11 制度はあったが、就労期間、就労時間が短いなど、介護休業の対象とならなかったから |
| 12 その他(具体的に )                              |
| 13 特に理由はない                                 |

Ⅵ 教育についておたずねします。

**問19** 学校（義務教育）で男女平等教育を進める上で、あなたが重要だと思うものは何ですか。  
あてはまる番号すべてに○をつけてください。（○はいくつでも）

- 1 男女平等の意識を育てる授業を行う
- 2 性別に関わりなく個性を發揮し、能力と適正に合わせた生活指導や進路指導を行う
- 3 登場人物・役割など性別に偏りのない教科書や教材を選択する
- 4 発達段階に応じ、人権尊重の立場に立った性教育を実施する
- 5 教員が男女平等教育を推進するよう研修を実施する
- 6 管理職（校長・副校長）に女性を増やす
- 7 児童・生徒が性暴力やセクシャル・ハラスメントをいつでも相談できる窓口を設置し、皆に周知できるような態勢をつくる
- 8 保護者に対し、男女平等教育の理解と協力を求める
- 9 どの授業も男女平等の視点をもって行う
- 10 その他（具体的に \_\_\_\_\_ )
- 11 特に取り組む必要はない

Ⅶ 人権についておたずねします。

**問20** あなたは過去5年間に、ハラスメントを受けた経験がありますか。それぞれについて、あてはまる番号すべてに○をつけてください。（○はそれぞれいくつでも）

- |   |   |
|---|---|
| <ol style="list-style-type: none"> <li>1 パワー・ハラスメントを受けたことがある</li> <li>2 セクシャル・ハラスメントを受けたことがある</li> <li>3 マタニティ（パタニティ（※1））・ハラスメントを受けたことがある</li> <li>4 モラル・ハラスメント（※2）を受けたことがある</li> <li>5 ケア・ハラスメント（※3）を受けたことがある</li> <li>6 性的マイノリティ(LGBT等)（※4）に関するハラスメントを受けたことがある</li> <li>7 自分は受けたことはないが、周囲に被害者がいる</li> <li>8 自分も受けたことがないし、周囲にも被害者はいない</li> <li>9 その他（具体的に _____ )</li> </ol> | <p>1 から6に○をされた方は<br/><b>問 23-1</b> もお答えください</p> |
|---|---|

※1 育児休業制度などを利用しようとする男性社員への嫌がらせ・不当な扱い

※2 言葉・態度などによる精神的な暴力、嫌がらせ

※3 働きながら育児や介護を行う労働者に対して、育児や介護に関する制度の利用を妨害したり、嫌がらせを行うなどの行為。また、老人ホームなどの介護施設に従事する介護スタッフや在宅ヘルパーに身体的・精神的暴力、性的な嫌がらせなどを行うこと

※4 レズビアン、ゲイ、バイセクシュアル、トランスジェンダーなど、性自認(自分が認識している性別)が生まれた時の身体的な性別と異なっていたり、性的指向(好きになる相手)が異性ではない人々のこと

令和2年度 市民意識調査(案)

問21 あなたは、「デートDV」(※1)(交際相手からの暴力)について知っていますか。

(○は1つ)

- |   |                          |
|---|--------------------------|
| 1 | 言葉も、その内容も知っている           |
| 2 | 言葉があることは知っているが、内容はよく知らない |
| 3 | 言葉があることを知らなかった           |

※1 交際相手からの暴力(デートDV)とは、結婚前の恋人間の暴力のこと

問22 あなたは、次のようなことが配偶者や交際相手など親密な関係の間で行われた場合、それを暴力だと思えますか。(1)~(10)それぞれについて、あなたの考えに近い番号1つに○をつけてください。(○はそれぞれ1つずつ)

		どんな場合で暴力にあたると思う	暴力にあたる場合も、そうでない場合もあると思う	暴力にあたるとは思わない
身体的暴行	1 平手で打つ	1	2	3
	2 なぐるふりをして、おどす	1	2	3
	3 大声でどなる	1	2	3
心理的攻撃	4 何を言っても長期間無視し続ける	1	2	3
	5 交友関係や行き先、電話・メールなどを細かく監視する	1	2	3
	6 家族や友人との関わりを持たせない	1	2	3
経済的圧迫	7 家計に必要な生活費を渡さない	1	2	3
	8 仕事に行くことを妨害したり、外出先を制限する	1	2	3
性的強要	9 いやがっているのに性的な行為を強要する	1	2	3
	10 避妊に協力しない	1	2	3

問23 あなたは過去5年間に、配偶者や交際相手から次のようなことをされたことがありますか。

1~4)のそれぞれについて、あてはまる番号1つに○をつけてください。

(○はそれぞれ1つずつ)

	何度もあった	1、2度あった	まったくない
1 身体的暴行 (例えば、なぐられたり、けられたり、物を投げつけられたり、突き飛ばされたりするなどの身体に対する暴行)	1	2	3
2 心理的攻撃 (例えば、人格を否定するような暴言、交友関係や行き先、電話・メールなどを細かく監視されたり、長期間の無視などの精神的嫌がらせ、あるいは、自分もしくは自分の家族に危害が加えられるのではないかと恐怖を感じるような脅迫)	1	2	3
3 経済的圧迫 (例えば、生活費を渡してもらえない、貯金を勝手に使われる、外で働くことを妨害されるなど)	1	2	3
4 性的強要 (例えば、いやがっているのに性的な行為を強要される、みたくないポルノ映像等を見せられる、避妊に協力しないなど)	1	2	3

令和2年度 市民意識調査(案)

【問20で「1～6のハラスメントを受けた」、問23で1～4のうち1つでも「1 何度もあった」「2 1、2度あった」と答えた方におたずねします】

**問23-1** あなたはこれまでに、このような行為を受けたことを誰かに打ち明けたり、相談したことがありますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。(○は1つ)

1	相談した	2	相談しなかった
		(問23-3へお進みください)	

【問23-1で「1 相談した」と答えた方におたずねします】

**問23-2** あなたはどこ(誰)に相談しましたか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

1 家族・親族	5 公的な相談窓口・電話相談など
2 友人・知人	6 医師・カウンセラーなど
3 同じような経験をした人	7 市民活動団体など
4 家庭裁判所、弁護士、警察など	8 その他(具体的に )

【問23-1で「2 相談しなかった」と答えた方におたずねします】

**問23-3** どこ(誰)にも相談しなかったのはなぜですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

1 相談する人がいなかったから	6 自分さえ我慢すれば、このままやっていけると思ったから
2 どこに相談してよいのか分からなかったから	7 自分にも落ち度があると思ったから
3 相談しても無駄だと思ったから	8 他人を巻き込みたくなかったから
4 相談したことがわかると、仕返しを受けると思ったから	9 相談するほどのことではないと思ったから
5 恥ずかしくて誰にも言えなかったから	10 その他(具体的に )

【すべての方におたずねします】

**問24** 配偶者や交際相手など、親密な関係にある者から暴力を受けた場合、相談できる機関や施設であなたが知っているものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

1 警察署(交番)	6 東京都女性相談センター(東京都福祉保健局)
2 小平市の市民無料相談	7 東京ウィメンズプラザ(女性用・男性用)
3 小平市女性相談室	8 その他(具体的に )
4 警視庁総合相談センター	9 相談できる機関・施設があることを知らなかった
5 配偶者暴力相談支援センター	

令和2年度 市民意識調査（案）

問25 あなたは、配偶者や交際相手などの暴力の防止や対策のために今後どのような事業が必要だと思いますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。（○はいくつでも）

- 1 相談先や相談方法を記載したカードを、トイレなど、手にとりやすいところに配架し、気軽に相談できる案内を充実する
- 2 別居後の住民票や保険のプライバシー確保など被害者の安全を守る施策を充実する
- 3 被害の実態や被害者の支援策を市民に広く周知する
- 4 被害者支援に携わる人（警察、医師、相談機関の職員）の意識向上を図る
- 5 加害者に対する再発防止教育を周知する
- 6 若い世代に人権や男女平等に関する啓発を実施する
- 7 親しい間柄であっても暴力は人権侵害であるという意識の啓発をする
- 8 その他（具体的に ）
- 9 わからない

問26 あなたは、性的マイノリティ(LGBT等)について知っていますか。（○は1つ）

- 1 言葉も、その内容も知っている
- 2 言葉があることは知っているが、内容はよく知らない
- 3 言葉があることを知らなかった

問27 あなたは、性的マイノリティ(LGBT等)の人権を守るために、どのような対策が必要だと思いますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。（○はいくつでも）

- 1 理解を深めるための教育を学校で行う
- 2 相談・支援体制を充実させる
- 3 性的マイノリティの困難に配慮できるよう人々の意識に定着させる啓発を行政が行う
- 4 法律や制度を整備する
- 5 その他
- 6 わからない

## Ⅷ 女性活躍推進についておたずねします。

問28 あなたは、政治や企業活動、地域活動など、あらゆる分野において、政策や方針の決定過程に女性の参画が少ない理由は何だと思いますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。（○はいくつでも）

- 1 男性優位の組織運営であるから
- 2 女性の参画を積極的に進めよう意識している人が少ないから
- 3 性別による役割分担や性差別の意識があるから
- 4 女性側の積極性が十分ではないから
- 5 家庭の支援・協力が得られないから
- 6 女性の活動を支援するサポート体制が整っていないから
- 7 女性の能力開発の機会が不十分であるから
- 8 その他（具体的に ）
- 9 わからない

令和2年度 市民意識調査(案)

~~問29~~ あなたは、政治・経済・地域などの各分野で女性のリーダーを増やすときに障害となるものは何だと思えますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

- 1 保育・介護・家事などにおける夫などの家族の支援が十分ではないこと
- 2 保育・介護の支援などの公的サービスが十分ではないこと
- 3 上司・同僚・部下となる男性や顧客が女性リーダーを希望しないこと
- 4 女性自身がリーダーになることを希望しないこと
- 5 長時間労働の改善が十分ではないこと
- 6 現時点では、必要な知識や経験などをもつ女性が少ないこと
- 7 企業などにおいては、管理職になると転勤が増えること
- 8 その他(具体的に\_\_\_\_\_)
- 9 特にない

### Ⅸ 小平市の男女共同参画に関する施策についておたずねします。

**問30** あなたは、小平市で取り組んでいる下記にあげる男女共同参画施策を知っていますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

- |                                  |                     |
|----------------------------------|---------------------|
| 1 小平市男女共同参画推進条例                  | 7 広報誌「ひらく」          |
| 2 小平市男女共同参画推進計画<br>-小平アクティブプラン21 | 8 女(ひと)と男(ひと)のフォーラム |
| 3 小平市男女共同参画センター“ひらく”             | 9 小平市男女共同参画推進講座     |
| 4 女性相談室                          | 10 小平市男女共同参画推進審議会   |
| 5 ひとり親相談                         | 11 小平市男女共同参画推進実行委員会 |
| 6 子ども家庭支援センター                    | 12 いずれも知らない         |

**問31** あなたは、男女共同参画社会を推進するため、今後、小平市ではどのようなことに力をいれるべきだと思えますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

- |                             |  |
|-----------------------------|--|
| 1 男女共同参画社会を推進するための講演会・講座の充実 | 11 DV(ドメスティック・バイオレンス)など、あらゆる暴力被害者支援の充実 |
| 2 男性の家事・育児・介護への参画促進         | 12 地域活動における男女共同参画の促進                   |
| 3 女性のための相談事業の充実             | 13 学校教育での男女平等教育の実施                     |
| 4 子育て支援の充実                  | 14 意思決定の場(審議会・委員会)への女性の参画促進            |
| 5 高齢者支援、障がい者支援の充実           | 15 子どもの虐待防止対策                          |
| 6 リプロダクティブ・ヘルス/ライツ(※1)の普及   | 16 性的マイノリティへの理解促進                      |
| 7 性・年代別のニーズに応じた健康支援の充実      | 17 その他(具体的に_____)                      |
| 8 女性の就労・起業についての支援策          | 18 特にない                                |
| 9 男女ともに働く環境の改善、整備           | 19 わからない                               |
| 10 男女共同参画センター“ひらく”の充実       |  |

※1 身体的・精神的・社会的な健康を維持し、子どもを産むかどうか、いつ産むか、どれくらいの間隔で産むかなどについて選択し、自ら決定する権利のこと。

令和2年度 市民意識調査（案）

X 最後に、あなたご自身についておたずねします。

※これまでお答えいただいたことを統計的に集計・分析するために用います。

個人を特定した分析は行いませんので、ご安心ください。

F1 あなたの性別（○は1つ）

（※生まれた時の身体的な性別ではなく、ご自身の認識している性をお答えください）

1 男性                      2 女性                      3 1, 2以外                      4 回答したくない

F2 あなたの年齢（○は1つ）

1 18～24歳	5 40～44歳	9 60～64歳
2 25～29歳	6 45～49歳	10 65～69歳
3 30～34歳	7 50～54歳	11 70～74歳
4 35～39歳	8 55～59歳	12 75歳以上

F3 あなたの職業（○は1つ）

1 自営業主（自由業含む）	7 パート・アルバイト
2 家族従業者	8 派遣社員（登録派遣）、契約社員、会計年度任用職員
3 会社などの役員	9 在宅勤務・内職
4 正規従業員（従業員100人以下の民間事業所）	10 家事専業（主婦・主夫）
5 正規従業員（従業員101人以下の民間事業所）	11 学生
6 正規職員（公的機関）	12 無職

F4 あなたの勤務地（○は1つ）

1 小平市内                      2 小平市外                      3 その他（具体的に                      ）

F5 あなたの結婚の状況（○は1つ）

1 既婚（事実婚を含む）	3 死別
2 離別	4 未婚

【F5で「1 既婚（事実婚を含む）」「2 離別」「3 死別」と答えた方におたずねします】

F5-1 あなたは結婚、出産・育児を機会に退職をした経験がありますか。（○は1つ）

1 ある（結婚退職）	3 ない
2 ある（出産・育児で退職）	

【F5で「1 既婚（事実婚を含む）」と答えた方におたずねします】

F5-2 あなたの世帯の働き方は次のうちのどれですか。（○は1つ）

1 夫婦が共に働いている	3 夫だけが働いている
2 妻だけが働いている	4 夫婦共に働いていない

令和2年度 市民意識調査（案）

【すべての方にお聞きします】

F6 お子さんはいらっしゃいますか（令和2年9月1日現在）。（○はあてはまるものすべて）

- |      |       |
|------|-------|
| 1 いる | 2 いない |
|------|-------|

【F6で「1 いる」と答えた方におたずねします】

F6-1 一番低年齢のお子さんはどの成長段階にあたりますか。（○は1 つ）

- |              |                |
|--------------|----------------|
| 1 1歳未満       | 4 小学生          |
| 2 1歳以上3歳未満   | 5 中学生          |
| 3 3歳以上小学校入学前 | 6 高校生相当またはそれ以上 |

【すべての方におたずねします】

F7 現在、生計をともにしている同居家族について、あてはまる番号すべてに○をつけてください。  
（○はいくつでも）

- |                 |            |
|-----------------|------------|
| 1 本人のみ          | 5 祖父母      |
| 2 配偶者（パートナーも含む） | 6 兄弟姉妹     |
| 3 親（実親・義親）      | 7 その他の親族   |
| 4 子ども           | 8 その他（具体的に |

F8 あなたのお住まいの地域をお答えください。

※町丁目までお答えください。例：小川町2丁目

\_\_\_\_\_ 町 丁目

★ご意見・ご要望がありましたら、ご自由にお書きください。